

CASBEE[®] あいち

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	勤労青少年水上スポーツセンター宿泊棟	階数	地上8階
建設地	愛知県碧南市	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	200 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2019年8月21日
敷地面積	15,571 m ²	作成者	五十川 嗣高
建築面積	1,057 m ²	確認日	2019年9月6日
延床面積	4,588 m ²	確認者	丹羽 満



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂温暖化影響チャート

☆☆☆☆☆

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.4

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 3.9

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 重点項目					
<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.2</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.0</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)</td> <td style="text-align: center;">35.2 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)</td> <td style="text-align: center;">0.0 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)	35.2 %	建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積)	35.2 %				
建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.2</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料> 外壁に自然石材を採用し隣接公園の自然との調和を図る景観としている</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$



CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き
 勤労青少年水上スポーツセンター(宿泊棟)

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部						建物全体・共用部		居室・宿泊部分		居室・宿泊部分		全体	
配慮項目	独自基準 重点項目	環境配慮設計の概要記入欄				評価点		重み係数		評価点		重み係数		全体			
		評価点	評価点	重み係数	重み係数	評価点	評価点	重み係数	重み係数	評価点	評価点	重み係数	重み係数				
Q 建築物の環境品質																	
Q1 室内環境																	
1 音環境																	
1.1 室内騒音レベル																	
1.2 遮音																	
1 開口部遮音性能																	
2 界壁遮音性能																	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)																	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)																	
1.3 吸音																	
2 温熱環境																	
2.1 室温制御																	
1 室温																	
2 外皮性能																	
3 ゾーン別制御性																	
2.2 湿度制御																	
2.3 空調方式																	
3 光・視環境																	
3.1 昼光利用																	
1 昼光率																	
2 方位別開口																	
3 昼光利用設備																	
3.2 グレア対策																	
1 昼光制御																	
3.3 照度																	
3.4 照明制御																	
4 空気質環境																	
4.1 発生源対策																	
1 化学汚染物質																	
4.2 換気																	
1 換気量																	
2 自然換気性能																	
3 取り入れ外気への配慮																	
4.3 運用管理																	
1 CO ₂ の監視																	
2 喫煙の制御																	
Q2 サービス性能																	
1 機能性																	
1.1 機能性・使いやすさ																	
1 広さ・収納性																	
2 高度情報通信設備対応																	
3 バリアフリー計画																	
1.2 心理性・快適性																	
1 広さ感・景観 (天井高)																	
2 リフレッシュスペース																	
3 内装計画																	
1.3 維持管理																	
1 維持管理に配慮した設計																	
2 維持管理用機能の確保																	
2 耐用性・信頼性																	
2.1 耐震・免震・制震・制振																	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)																	
2 免震・制震・制振性能																	
2.2 部品・部材の耐用年数																	
1 躯体材料の耐用年数																	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔																	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔																	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔																	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔																	
6 主要設備機器の更新必要間隔																	
2.4 信頼性																	
1 空調・換気設備																	
2 給排水・衛生設備																	
3 電気設備																	
4 機械・配管支持方法																	
5 通信・情報設備																	

3 対応性・更新性				0.2	3.0	0.29	2.6	2.6	1.00	2.8	
3.1 空間のゆとり		②	鉄骨ラーメン構造により間仕切り位置を自由に行なえる	-	-	-	2.2	2.2	0.50	-	
1 階高のゆとり				-	3.0	-	-	1.0	0.60	-	-
2 空間の形状・自由さ				-	3.0	4.0	-	4.0	0.40	-	-
3.2 荷重のゆとり				-	3.0	3.0	-	3.0	0.50	-	-
3.3 設備の更新性				-	1.0	3.0	1.00	-	-	-	-
1 空調配管の更新性				-	-	3.0	0.17	-	-	-	-
2 給排水管の更新性		-	3.0	3.0	0.17	-	-	-	-		
3 電気配線の更新性		-	3.0	3.0	0.11	-	-	-	-		
4 通信配線の更新性		-	3.0	3.0	0.11	-	-	-	-		
5 設備機器の更新性		-	3.0	3.0	0.22	-	-	-	-		
6 バックアップスペースの確保		-	3.0	3.0	0.22	-	-	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	-	-	3.9	
1 生物環境の保全と創出		独自③		-	3.0	0.30	-	-	-	3.0	
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	外壁に自然石材を採用し隣接の自然との調和を図っている	-	5.0	0.40	-	-	-	5.0	
3 地域性・アメニティへの配慮		独自④	イベント用の広場、駐車を設けている	0.3	3.5	0.30	-	-	-	3.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④	建物を住宅から離しイベント用の芝生広場を設けている	-	4.0	0.50	-	-	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				-	3.0	0.50	-	-	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性										3.2	
LR1 エネルギー						0.40				3.4	
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.86	3.0	4.4	0.30	-	-	-	4.4	
2 自然エネルギー利用			自然採光取り入れチューブを屋根から天井に設けている	3.0	4.0	0.20	-	-	-	4.0	
3 設備システムの高効率化				3.0	2.3	0.30	-	-	-	2.3	
4 効率的運用				0.2	3.0	0.20	-	-	-	3.0	
集合住宅以外の評価				1.0	3.0	1.00	-	-	-	-	
4.1 モニタリング			中央監視装置、集中コントローラにより各種エネルギー消費が把握	3.0	4.0	0.50	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	2.0	0.50	-	-	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	3.0	-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	3.0	-	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						0.30				3.4	
1 水資源保護				0.1	3.4	0.15	-	-	-	3.4	
1.1 節水			節水型器具を採用している	3.0	4.0	0.40	-	-	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				0.6	3.0	0.60	-	-	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.67	-	-	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	3.0	0.33	-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				0.6	3.4	0.63	-	-	-	3.4	
2.1 材料使用量の削減		② 独自		-	3.0	0.07	-	-	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.24	-	-	-	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-	-	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	-	-	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	3.0	0.05	-	-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			独自	鉄骨造のため外壁は取り外し可能	3.0	5.0	0.24	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				0.2	3.6	0.22	-	-	-	3.6	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			F☆☆☆☆製品の採用	3.0	5.0	0.32	-	-	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				0.6	3.0	0.68	-	-	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				-	3.0	0.50	-	-	-	-	
3 冷媒				3.0	3.0	0.50	-	-	-	-	
LR3 敷地外環境						0.30				2.9	
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2概算値87%	-	3.2	0.33	-	-	-	3.2	
2 地域環境への配慮				0.3	2.6	0.33	-	-	-	2.6	
2.1 大気汚染防止				-	3.0	0.25	-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				-	2.0	0.50	-	-	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				0.2	3.7	0.25	-	-	-	-	
1 雨水排水負荷低減		独自		-	3.0	0.25	-	-	-	-	
2 汚水処理負荷抑制		独自		-	3.0	0.25	-	-	-	-	
3 交通負荷抑制		独自	自転車置場、マイクロバス駐車を設けている	-	5.0	0.25	-	-	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			分別ゴミ回収ボックスを設置	-	4.0	0.25	-	-	-	-	
3 周辺環境への配慮				0.3	2.9	0.33	-	-	-	2.9	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				0.4	3.0	0.40	-	-	-	-	
1 騒音		独自		-	3.0	0.33	-	-	-	-	
2 振動		独自		-	3.0	0.33	-	-	-	-	
3 悪臭				-	3.0	0.33	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				0.4	2.6	0.40	-	-	-	-	
1 風害の抑制				-	2.0	0.70	-	-	-	-	
2 砂塵の抑制				-	3.0	-	-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			近隣住宅から距離を確保し平均地盤面で規制時間をクリアしている	-	4.0	0.30	-	-	-	-	
3.3 光害の抑制				0.2	3.3	0.20	-	-	-	-	
1 屋外照明及び室内照明のうちもに漏れる光への対策				-	3.0	0.70	-	-	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			バルコニーを設け、外壁に角度を付けて面的グレアを分散している	-	4.0	0.30	-	-	-	-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

勤労青少年水上スポーツセンター宿泊棟

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.2
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.2	0.10	
② 資源の有効活用				3.2
Q2-2	耐震性・信頼性	3.3	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.4	0.19	
③ 敷地内の緑化				3.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	外構緑化:35.2%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用				3.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	2.0	-	外壁に自然石材を採用し隣接公園の自然との調和を図る景観としている
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$ の総和

重点項目スコア= $\frac{\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}}{\text{重みの総和}}$

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 勤労青少年水上スポーツ

計画上の配慮事項	
総合	選手の講習の大切な宿泊施設であると共に地域の人々に貢献する施設として、十分な広さと利便性を提供する施設として多様性を持たせた計画とした
Q1 室内環境	主要室、宿泊室の壁をTLD値50とし利用者の快適性を考慮した計画としている。 換気量を一人あたり30m ³ /hとし、利用者の適正な換気量を保つ計画としている。
Q2 サービス性能	用途、部屋の大きさに対応じて天井を高くし、窓からの眺望も出来るだけ大きくとり空間の広がり快適性を利用者に感じさせる計画としている
Q3 室外環境(敷地内)	空調の屋外機を屋根に設ける事により歩行空間への排熱環境を緩和している。緑地、植生ブロック、浸透性舗装により敷地内の自然環境の向上を行っている
LR1 エネルギー	外壁、窓、屋根の外皮に面する断熱性能を高め建物の熱負荷を軽減させている。 スカイライトチューブを採用し、自然採光を導入している。
LR2 資源・マテリアル	豊富な井戸水とその地熱を利用する事で資源エネルギーの節約に努め、衛生器具等も節水タイプの採用により公共資源の節約できる計画としている
LR3 敷地外環境	隣接公園との一体感を持たせ近隣住宅から距離を取った計画とし日影規制対策を平均地盤面で実現している
その他	既設建築躯体を工事施工者のリサイクルプラントにおいてクラッシャーランに再生し外構舗装の路盤に採用